

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Extensive Reading B		
英文授業科目名	Extensive Reading B		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	酒井 邦秀		
居室	東1-716		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
酒井の英語演習または Extensive Reading A を受講した学生の中から、Extensive Reading B で指導で受けることが適切と判断した学生を対象に、専門的な英語能力の獲得をめざして、酒井の助言の下、一人一人が学習計画を立て、実行します。

【前もって履修しておくべき科目】
英語演習またはExtensive Reading A またはその両方

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
ありません。

【教科書等】
全員が一斉に読む「教科書等」はありません。5千冊を越える多読用図書、200種類を越えるCD、100種類を越えるDVDを利用し、一人一人が違う道をたどって英語を使えるようになることをめざします。そのため毎年相当数の多読用図書が本棚に戻ってきません。それらの紛失を補充し、新たな素材を共同購入するために半期につき一人あたり、2000円を集めます。
なお、この授業の参考書としては 「どうして英語が使えない？ 学校英語につける薬」酒井邦秀、ちくま学芸文庫

電気通信大学 平成20年度シラバス

「快読100万語！ ペーパーバックへの道」

酒井邦秀、ちくま学芸文庫

「教室で読む英語100万語」

酒井邦秀、神田みなみ、大修館書店

があります。

【授業内容とその進め方】

上記目標達成のために、次のような作業から、学生は自らの将来に必要な分野の英語を考慮して、一つまたは複数の作業を組み合わせ、授業内で、また家で、英語を吸収し、溢れさせます。

- * 基本的な内容および高度な内容および専門的な内容の多読・多聴の継続
- * 英字新聞（Daily YomiuriとJapan Times）のコラム等高度な記事の読解継続
- * インターネット上のラジオやテレビを使った海外大学の講義などの視聴
- * CDおよびDVDによる専門的な音声・映像教材の利用
- * 上記情報を音声/文字で批判的にまとめ、自分の意見をつけて発表する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期開始時にそれぞれの到達目標をわたしと相談の上で決めます。
学期終了時にはその到達目標に達しているかどうかを話し合い、その結果により成績を決めます。

【オフィスアワー：授業相談】

課題の本やCDが終わったら研究室前の本棚に本を取り替えに来てください。
その際に研究室の戸を叩いて、様子を聞かせてください。

水曜日の午後から6限の終わりまでがいちばんつかまりやすいはずですが、
そのほかの時間は会議、授業の準備などで研究室にいないことがあります。
事前に連絡をください。

【学生へのメッセージ】

Extensive Reading A または B を履修できるみなさんは、英語の吸収量では平均的な大学生の何十倍あるいは何百倍に達しているはずですが、それを自分の将来にどう結びつけるか、そのためにいまExtensive Readingという授業に参加して何をすることがいちばんよいか、それをしっかり判断して、クラスに参加してください。

【その他】